

令和3年度 学校経営環境分析書

<p><b>O</b> (支援的要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学校の活動・取組に対して、地域や保護者の協力が得られやすい。</li> <li>② 銀行、病院、郵便局など概ね生活に重要な場所があり、生活しやすい。</li> <li>③ バス停が近く、多方面に移動できる。</li> <li>④ 高齢者の中に、地域の昔について語ってくださる方がいる。</li> <li>⑤ 3世代同居の家庭が多い。</li> <li>⑥ 保1小1中1の学区。</li> </ul>	<p><b>S</b> (強み)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 少人数で各学年にクラスがあり、指導が丁寧にできる。</li> <li>② 児童の人間関係が密接で、異年齢の活動も容易である。</li> <li>③ 穏やかな性格の児童が多く、授業等に集中して取り組む。</li> <li>④ 仲間内で「話すこと」に抵抗がなく、言いたいことが言いやすい。</li> </ul>	<p>支援的要因と強みを生かした活動・取組は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域素材を生かした学習への取組</li> <li>○外部の人材をゲストに招いた学習への取組</li> <li>○中学校との乗り入れ授業・合同行事の推進</li> <li>○少人数を生かした個別最適化の授業の推進</li> <li>○異年齢集団での活動の推進</li> </ul>
<p><b>T</b> (阻害的要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 統合してできた経緯があり、学区が広く、児童の放課後・休日のかかわりが少ない。</li> <li>② 近隣に大型店がない。</li> <li>③ バスの本数が少ない。</li> <li>④ 家庭間の格差が大きく、学力向上に対する関心の差が見られる。</li> <li>⑤ 虫歯治療への意識が低い。</li> </ul>	<p><b>W</b> (弱み)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学力に差があり、全体的に学力が低い。</li> <li>② 少人数の強みが活かされず、全体的な一斉指導に陥っている。</li> <li>③ 指導がしやすいため、教師の指示に従って動くとする。</li> <li>④ 教職員数が少なく、相談し合うことができにくい。</li> </ul>	<p>内部環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○個に対応した授業の推進</li> <li>○「自分で決めて 自分でやり抜く」活動の推進</li> <li>○個々の家庭に応じた声かけ、学校通信・学級通信での保護者への提起</li> <li>○低・高・総務等で組織した協力しやすい教職員集団づくり</li> </ul> <p>阻害的要因と弱みを克服する活動・取組は</p>

2 重点課題

- ① 個に応じた学力の伸長を図るための、児童理解と分析、それを活用した個別最適化の授業の推進
- ② 異年齢集団を生かしたかかわりを深める取組、自他のよさを認め合う取組の推進
- ③ 外遊びの推進、体育科の授業の充実、虫歯治療の意識化を図る取組の推進
- ④ 保護者・地域とのよりよいつながりをもつための取組の推進
- ⑤ 業務改善への意識の向上